



2009年3月期決算および 第二次中期経営計画説明会

GS Yuasa Corporation
2009年6月11日

目次

I. 2008年度決算

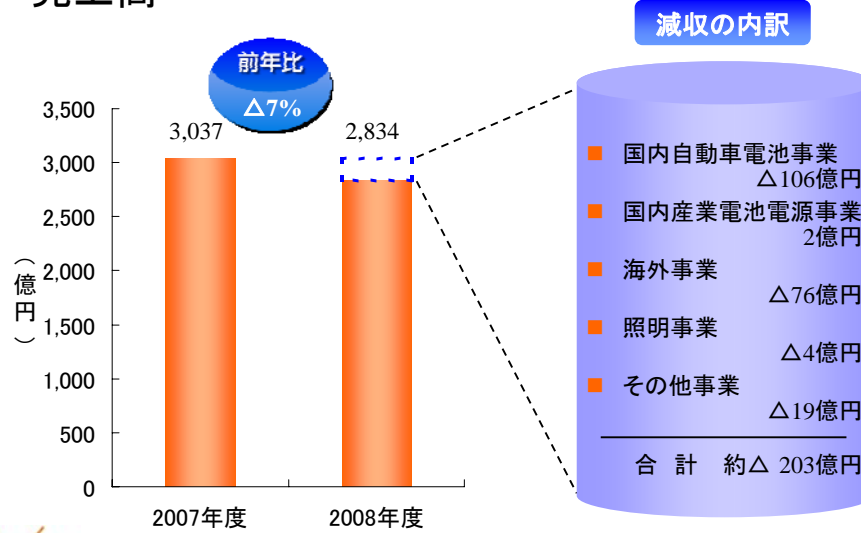
1. 決算の概要(P/L)
2. 事業セグメント別業績
3. 貸借対照表・キャッシュフロー
4. 第一次中期経営計画の評価

II. 第二次中期経営計画

1. 中期計画の概要
2. リチウムイオン電池事業

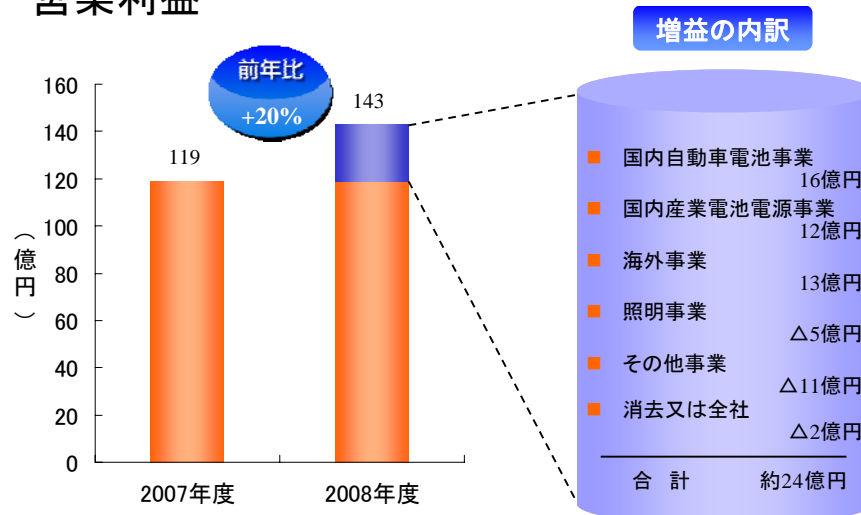
I 1. 2008年度決算の概要 (P/L)

売上高



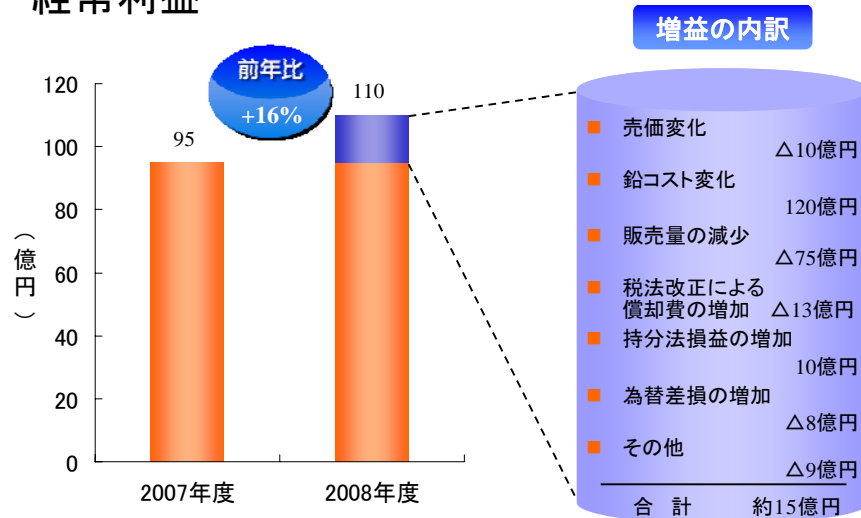
I 1. 2008年度決算の概要 (P/L)

営業利益



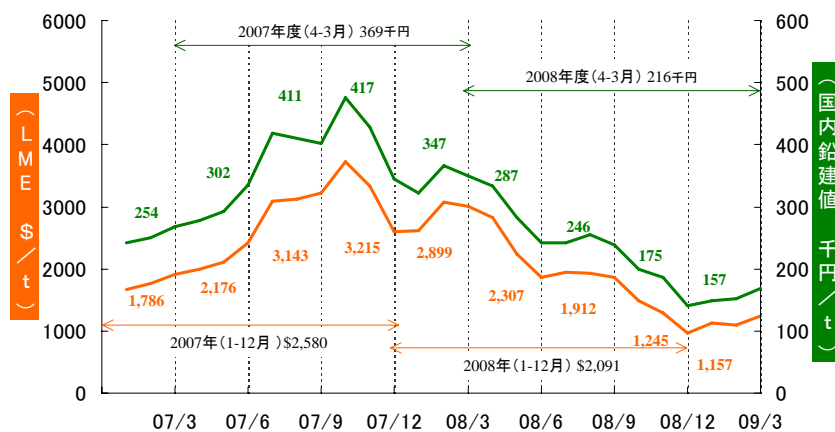
I 1. 2008年度決算の概要 (P/L)

経常利益



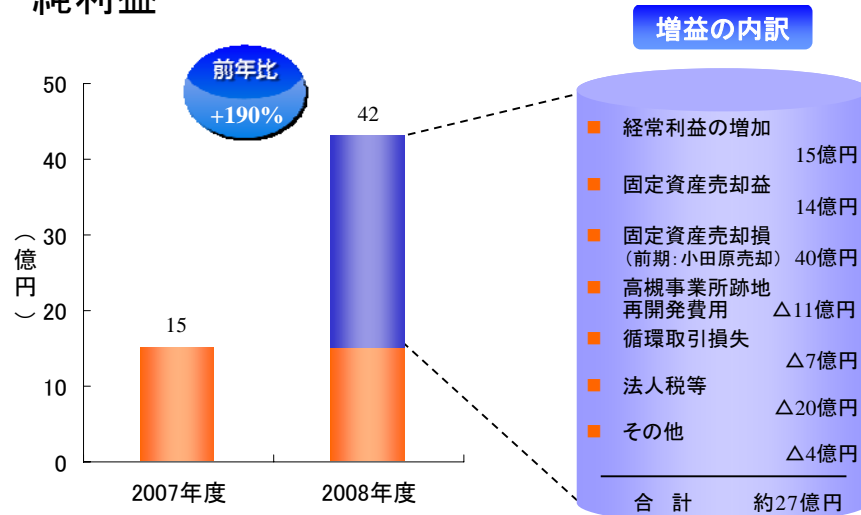
I 1. 2008年度決算の概要 (P/L)

事業環境 — 鉛価格の急激な変化 —



I 1. 2008年度決算の概要 (P/L)

純利益



I 1. 2008年度決算の概要 (P/L)

まとめ

(億円)

	2007年度	2008年度	増減額
売上高	3,037	2,834	△ 203
営業利益	119	143	24
経常利益	95	110	15
特別利益	11	19	8
特別損失	73	57	△ 16
税前純利益	33	72	39
法人税等	16	36	20
純利益	15	42	27
配当	5円/株	6円/株	1円/株

目次

I. 2008年度決算

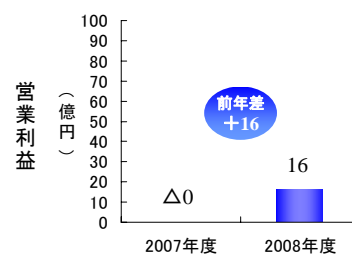
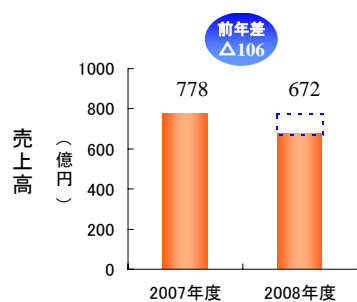
1. 決算の概要(P/L)
2. 事業セグメント別業績
3. 貸借対照表・キャッシュフロー
4. 第一次中期経営計画の評価

II. 第二次中期経営計画

1. 中期計画の概要
2. リチウムイオン電池事業

I 2. 2008年度決算 事業セグメント別業績

● 国内自動車電池事業



増益要因

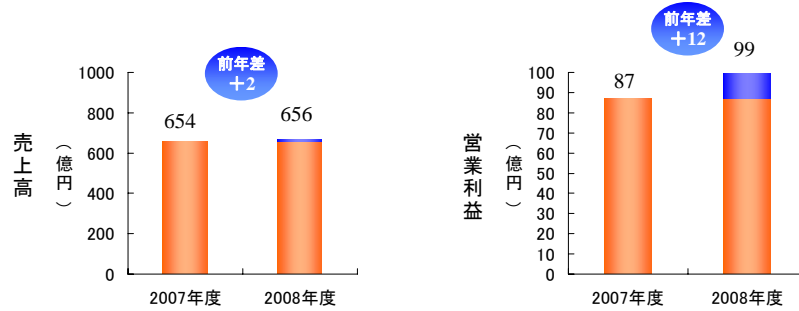
- 売価アップ 20億円
- 鉛コスト変化 25億円
- 合理化・経費削減等 15億円

減益要因

- 販売量の減少 $\Delta 40$ 億円
- 税法改正による減価償却費の増加 $\Delta 4$ 億円

I 2. 2008年度決算 事業セグメント別業績

● 国内産業電池電源事業



増益要因

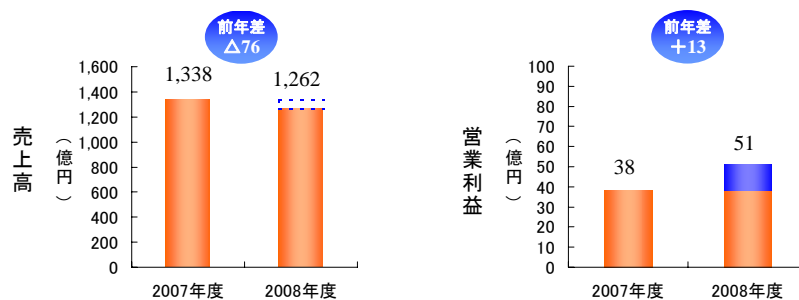
- 売価アップ 20億円
- 鉛コスト変化 25億円

減益要因

- 販売量の減少 $\Delta 15$ 億円
- 税法改正による減価償却費の増加 $\Delta 6$ 億円
- 人件費・経費等の増加 $\Delta 12$ 億円

I 2. 2008年度決算 事業セグメント別業績

● 海外事業



増益要因

- 鉛コスト変化 70億円
- 合理化・経費削減等 3億円

減益要因

- 売価ダウン $\Delta 50$ 億円
- 販売量の減少 $\Delta 10$ 億円

I 2. 2008年度決算 事業セグメント別業績

まとめ

(億円)

	国内自動車電池	国内産業電池電源	海外	照明	その他	消去又は 全社	合計
--	---------	----------	----	----	-----	------------	----

■ 売上高

2008年度	672	656	1,262	89	155	—	2,834
2007年度	778	654	1,338	93	174	—	3,037
増減額	△ 106	2	△ 76	△ 4	△ 19	—	△ 203

■ 営業利益

2008年度	16	99	51	0	△6	△ 17	143
2007年度	△ 0	87	38	5	5	△ 15	119
増減額	16	12	13	△ 5	△ 11	△ 2	24

目次

I . 2008年度決算

1. 決算の概要(P/L)
2. 事業セグメント別業績
3. 貸借対照表・キャッシュフロー
4. 第一次中期経営計画の評価

II . 第二次中期経営計画

1. 中期計画の概要
2. リチウムイオン電池事業

I 3. 2008年度決算 B/S・C/F

資産・負債・純資産

(億円)

■ 流動資産			■ 負債		
08/3末	09/3末	増減額	08/3末	09/3末	増減額
1,480	1,173	△ 307	1,823	1,475	△ 348
- 売上債権の減少		△143億円	- 仕入債務の減少		△139億円
- 棚卸資産の減少		△190億円	- 有利子負債の減少		△171億円
■ 固定資産			■ 純資産		
08/3末	09/3末	増減額	08/3末	09/3末	増減額
1,123	963	△ 160	781	660	△ 121
- 有形固定資産の減少		△67億円	- 利益剰余金の増加		19億円
- 投資有価証券の時価下落等		△93億円	- その他有価証券評価差額金		△42億円
			- 為替換算調整勘定		△94億円
総資産					
08/3末	09/3末	増減額			
2,604	2,136	△ 468			

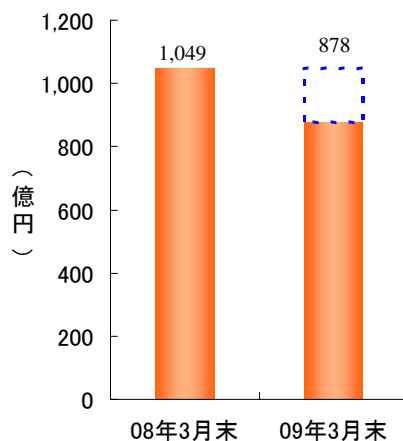


15

I 3. 2008年度決算 B/S・C/F

有利子負債

(億円)



	08年3月末	09年3月末	増減額
短期借入	704	585	△ 119
コマーシャルペーパー	35	0	△ 35
長期借入	310	293	△ 17
合計	1,049	878	△ 171

主な増減要因

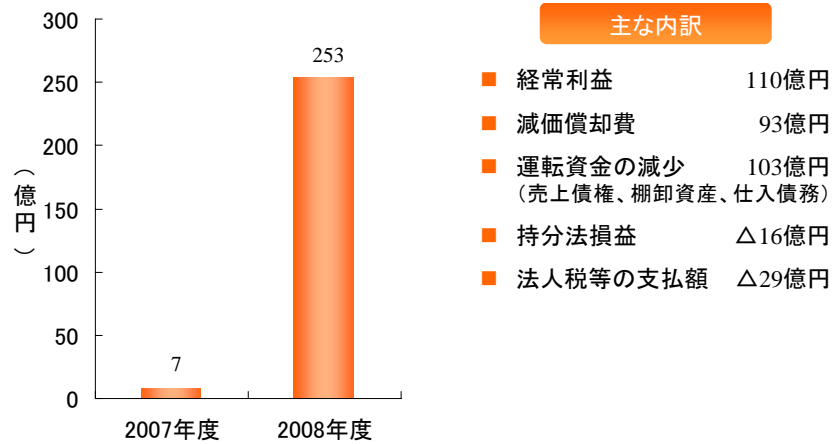
■ 営業キャッシュフロー	253億円
■ 投資キャッシュフローへの充当	△65億円
■ 現預金の増加	△46億円
■ 為替換算差額等	29億円
減少額合計	171億円



16

I 3. 2008年度決算 B/S・C/F

営業キャッシュフロー



目次

I. 2008年度決算

1. 決算の概要(P/L)
2. 事業セグメント別業績
3. 貸借対照表・キャッシュフロー
4. 第一次中期経営計画の評価

II. 第二次中期経営計画

1. 中期計画の概要
2. リチウムイオン電池事業

I 4. 第一次中期経営計画の評価

(億円)

	中期計画 (2008年度)	実績 (2008年度)	評価
売上高	2,600	2,834	○ 達成
営業利益	130	143	○ 達成
経常利益	120	110	△ 円高の影響により未達成

- 国内事業の収益基盤の改善、アジア地域を始めとする海外事業の拡大が売上拡大や利益改善に貢献

(億円)

営業利益	年度	2006	2007	2008
■ 国内自動車電池		△ 30	△ 0	16
■ 国内産業電池電源		78	87	99
■ 海外		28	38	51

- リチウムイオン電池事業では、電気自動車用、ハイブリッド車用リチウムイオン電池の合弁会社をそれぞれ設立し、量産の準備を推進

目次

I. 2008年度決算

1. 決算の概要(P/L)
2. 事業セグメント別業績
3. 貸借対照表・キャッシュフロー
4. 第一次中期経営計画の評価

II. 第二次中期経営計画

1. 中期計画の概要
2. リチウムイオン電池事業

II 1. 中期計画の概要

■ 事業環境

- 国内需要の縮小とアジアの継続的な発展

	2007年	2014年
少子高齢化の日本*1	128百万人	125百万人
アジア新興国の人口増加(世界人口)*2	64億人	72億人

出典:*1 2015年の日本(NRI) *2 国連人口統計(2004年)

- 社会は環境対応型社会への諸施策を実行
- 自動車生産台数の減少や設備投資の抑制

■ 計画の前提条件

- 為替レート:95円/US\$
- 主要原材料価格の鉛建値:17万円/t (LME:1,300US\$/t)

II 1. 中期計画の概要

ブリッジ・プラン(2009年度 単年度計画)

昨今の市場環境・経営環境を踏まえ、第二次中期経営計画は2010年度～2012年度の3カ年とする。

■ 経営方針

- 事業基盤の足元を固める
- リチウムイオン電池事業を軌道に乗せる

■ 計画期間

- 2009年4月～2010年3月の単年度計画

II 1. 中期計画の概要

経営方針と目標

- 経営方針
 - 社会・環境に貢献しステークホルダーから高い支持を得る
 - リチウムイオン電池事業を基幹事業の一翼を担う成長事業へ育成する
 - グローバル企業として高収益企業グループを形成する
- 計画期間：2010年4月から2013年3月までの3年間
- 経営目標（最終年度2012年度目標値）
 - 売上高 3,500億円
 - 営業利益 200億円(5.7%)
 - 経常利益 200億円(5.7%)
 - ROE(株主資本利益率) 10% 以上
 - 営業キャッシュフロー 200億円以上

II 1. 中期計画の概要

重要戦略課題

- 既存事業の収益力強化
 - 次世代新製品の開発
 - 国内産業電池電源事業における収益基盤の維持強化
 - 国内自動車電池事業の安定的な利益確保
- 海外事業の拡大
 - 中国・アジアを中心とする自動車電池事業の拡大
 - 地域ニーズに適した新製品の開発と市場投入
 - 新エネルギー事業のグローバル化
- リチウムイオン電池事業の育成
 - 電気自動車用電池・ハイブリッド車用電池の事業化
 - 大型リチウムイオン電池事業の拡大
- グループ全体の経営課題の実践
 - コンプライアンス体制の強化

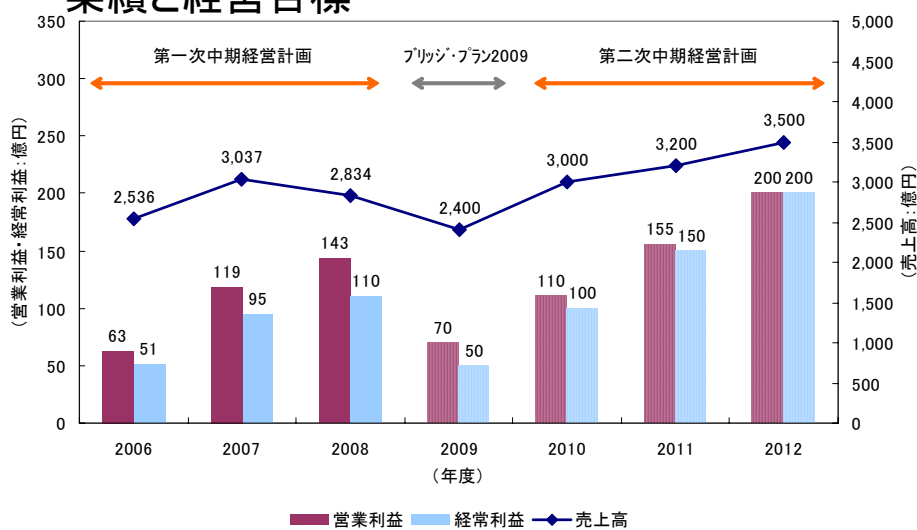
II 1. 中期計画の概要

コンプライアンス体制の強化

- 6月3日に東証・大証へ改善状況報告書を提出
(昨年発覚した子会社の不適切取引に対する改善措置の実施状況を報告)
- 改善措置の実施状況
 - コンプライアンス強化改善プロジェクトの設置
 - コンプライアンス意識の改革
 - 階層別コンプライアンス研修・対話集会の開催
 - 全社員へのコンプライアンス調査の定期化(年2回)
 - 内部監査の充実
 - モニタリング体制の構築
 - 企業倫理ホットラインの改善整備(内部通報の改善、外部通報の導入)
 - 人事制度の見直し(人事ローテーション制度化等)
 - 連結子会社の規定・マニュアル整備・運用改善
 - 海外孫会社のモニタリング強化

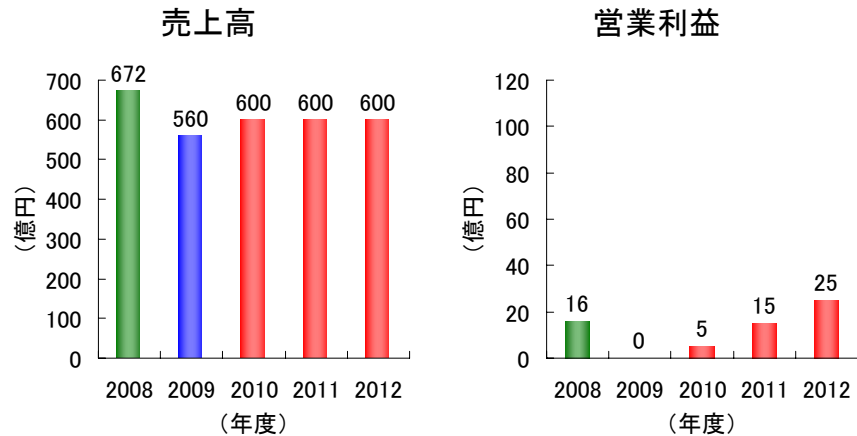
II 1. 中期計画の概要

業績と経営目標



II 1. 中期計画の概要

● 国内自動車電池事業セグメント



II 1. 中期計画の概要

● 国内自動車電池事業セグメント

■ 安定的な利益確保

- 経営資源の最適化と合理化の推進
 - 成長分野へのシフトによるスリム化
 - 生産ラインの効率化、設計等合理化の強化
- 「環境・安全・安心」をキーワードとした製品の販売拡大

■ 環境対応型新製品の開発

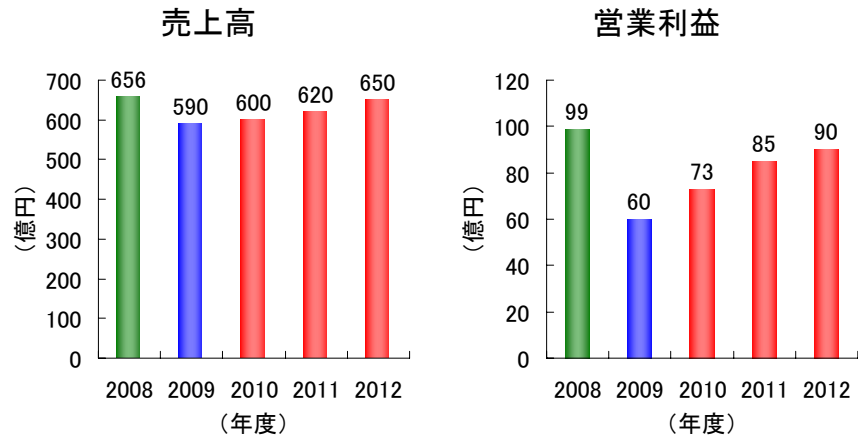
- アイドリングストップ車用電池のラインナップ拡充と高性能化
- ハイブリッド車補機用VRLA(密閉型)電池の高性能化
- 充電制御車用電池の拡大

充電制御車用電池
(CO₂排出量削減
・燃費向上)



II 1. 中期計画の概要

●国内産業電池電源事業セグメント



II 1. 中期計画の概要

●国内産業電池電源事業セグメント

- 収益基盤の維持強化
 - サービスの強化と高収益力の維持
 - 通信用電源市場への本格参入
- 新エネルギー事業の拡大
 - 太陽光、再生可能なエネルギー分野の強化



鉄道用回生電力貯蓄装置



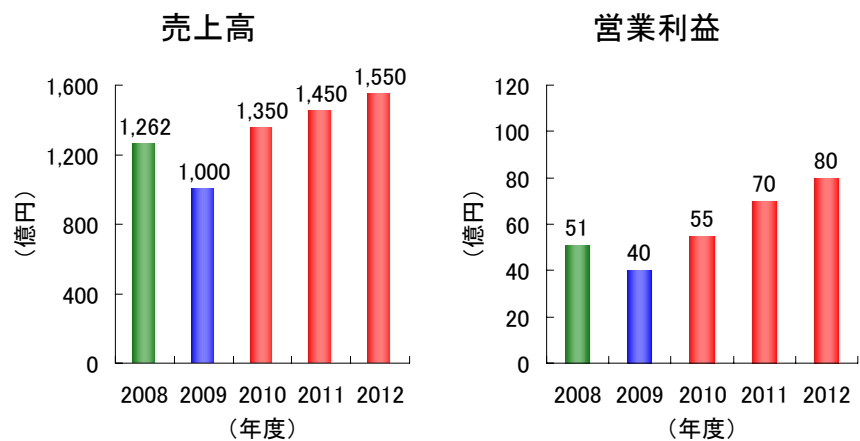
太陽光発電システム
透過性パネルを設置



250KWh太陽光発電システム用
パワーコンディショナー
(2009年秋発売予定)

II 1. 中期計画の概要

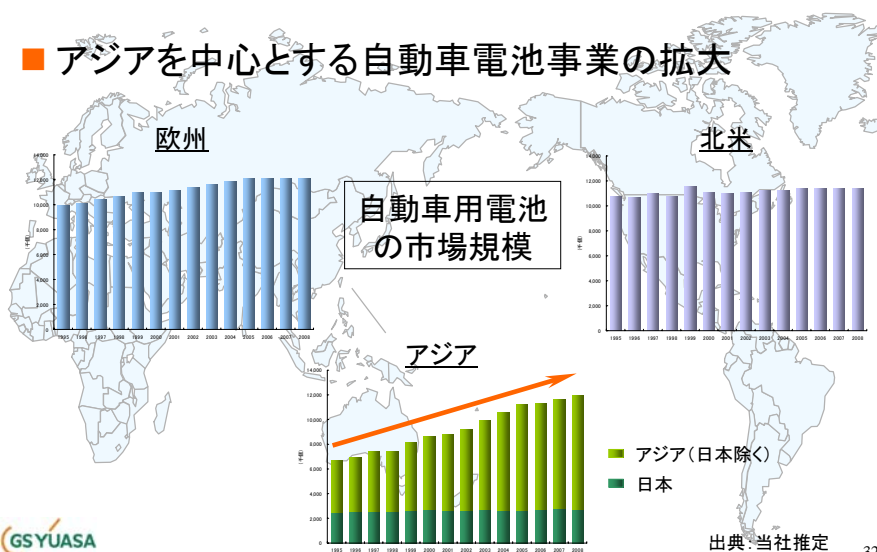
● 海外事業セグメント



II 1. 中期計画の概要

● 海外事業セグメント

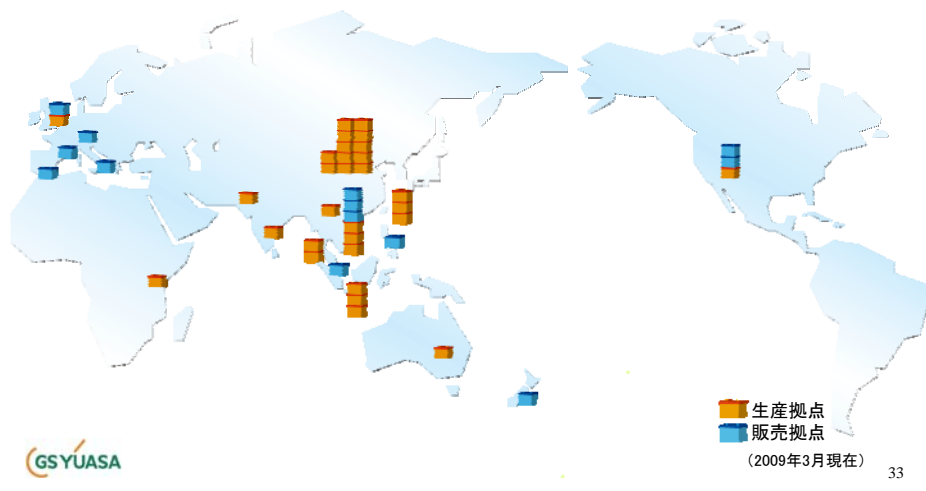
■ アジアを中心とする自動車電池事業の拡大



II 1. 中期計画の概要

● 海外事業セグメント

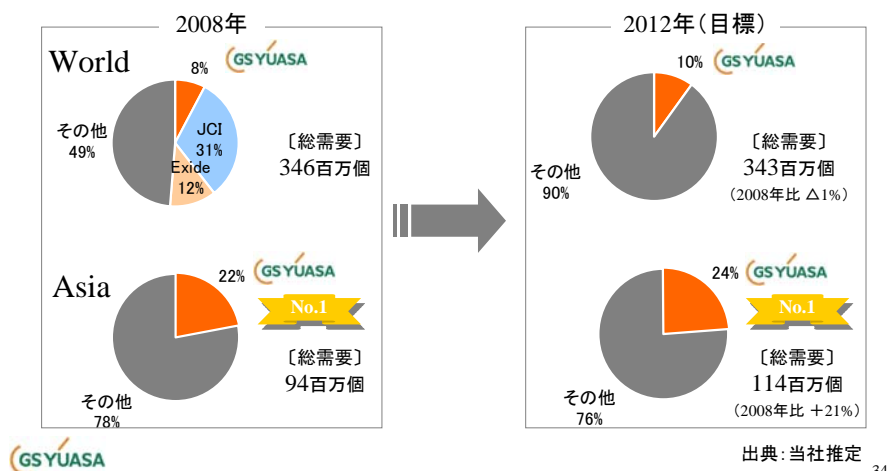
■ アジアを中心とする生産・販売拠点 (19カ国 43拠点)



II 1. 中期計画の概要

● 海外事業セグメント —自動車用電池—

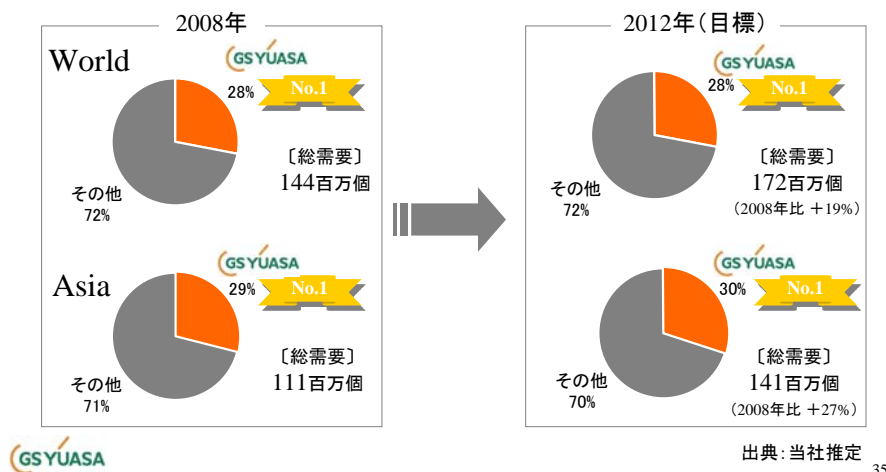
■ アジアを中心とする自動車電池事業の拡大



II 1. 中期計画の概要

● 海外事業セグメント —オートバイ用電池—

■ アジアを中心とする自動車電池事業の拡大



35

II 1. 中期計画の概要

● 海外事業セグメント

■ 地域ニーズに適した新製品の開発と市場投入

欧州地域

ニーズ: 環境対応 (CO₂ 排出量規制、2015年新燃費基準)

製品: アイドリングストップ車用電池

アイドリングストップ中の電装負荷に応じた電力供給、エンジン再始動時の大電流放電、およびブレーキ制動時の回生充電の繰り返しに耐えられるよう新開発した電池

アジア地域

ニーズ: 低価格、耐高温

製品: 二重蓋電池

トップカバーとセカンドカバーの二重蓋構造により、バッテリー内部で蒸発した液を結露・回収。寿命まで補水不要を実現した電池

II 1. 中期計画の概要

セグメント別売上高

(億円)

年度	実績	ブリッジプラン	第二次中期経営計画			増減 (12-08)
	2008	2009	2010	2011	2012	
■国内自動車電池	672	560	600	600	600	△ 72
■国内産業電池電源	656	590	600	620	650	△ 6
■海外	1,262	1,000	1,350	1,450	1,550	288
■照明	89	70	80	90	100	11
■その他	155	180	370	440	600	445
消去又は全社	—	—	—	—	—	—
合計	2,834	2,400	3,000	3,200	3,500	666

※ 2012年度 その他セグメント 売上高 600億円のうち、
リチウムイオン電池事業は 400億円を計画

II 1. 中期計画の概要

セグメント別営業利益

(億円)

年度	実績	ブリッジプラン	第二次中期経営計画			増減 (12-08)
	2008	2009	2010	2011	2012	
■国内自動車電池	16	0	5	15	25	9
■国内産業電池電源	99	60	73	85	90	△ 9
■海外	51	40	55	70	80	29
■照明	0	0	2	4	5	5
■その他	△ 6	△ 10	0	6	25	31
消去又は消去	△ 17	△ 20	△ 25	△ 25	△ 25	△ 8
合計	143	70	110	155	200	57

II 1. 中期計画の概要

設備投資

(億円)

年度	実績	ブリッジプラン	第二次中期経営計画		
	2008	2009	2010	2011	2012
リチウムイオン電池事業	35	170	500		
海外事業	26	25	100		
既存事業等	47	25	150		
設備投資 合計	108	220	750		
減価償却 合計	89	100	140	170	200

目次

I. 2008年度決算

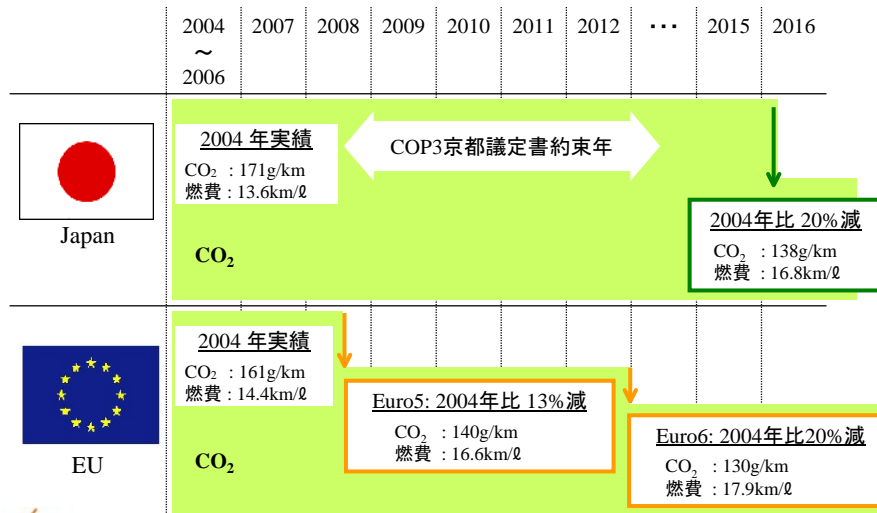
1. 決算の概要(P/L)
2. 事業セグメント別業績
3. 貸借対照表・キャッシュフロー
4. 第一次中期経営計画の評価

II. 第二次中期経営計画

1. 中期計画の概要
2. リチウムイオン電池事業

Ⅱ 2. 中期経営計画 リチウムイオン電池事業

自動車の排出規制



Ⅱ 2. 中期経営計画 リチウムイオン電池事業

電動パワートレインの自動車

自動車の種類	CO ₂ 排出量比	バッテリー量
ガソリン車	100%	0.3 kWh
マイクロHEV (アイドリングストップ)	93%	0.5 kWh
マイルドHEV	75%	0.7 ~ 1 kWh
フルHEV	65%	1.5 kWh
プラグインHEV	55%	5 ~ 8 kWh
EV	25%	15 ~ 30 kWh

Ⅱ 2. 中期経営計画 リチウムイオン電池事業 電気自動車用電池事業の事業化



2007年12月12日 会社設立
2008年 7月31日 工場建屋取得

2009年 5月 工場稼動
2009年7月下旬 i MiEV市場投入
(2009年度:1400台)

2010年中 生産能力増強予定
↓ (20 → 60万セル)

早期に・・・ 更なる増強を検討

所在地:京都市南区吉祥院
資本金:20億円
出 資:51% GSYUASA 34% 三菱商事 15%
事 業:大型リチウムイオン電池の開発・製造・販売

滋賀事業所 概要

所在地 :滋賀県草津市
敷地面積:2.0万㎡
生産能力:
現状 20万セル/ EV2000台分
増強後 60万セル/EV6000台分



43

Ⅱ 2. 中期経営計画 リチウムイオン電池事業 ハイブリッド車用電池事業の事業化



2009年 4月 1日 会社設立
2009年 4月21日 工場建設開始

2009年末 工場完成予定

2010年秋ごろ 工場稼動予定

所在地:京都市南区吉祥院
資本金:30億円
出 資:51% GSYUASA 49% HONDA
(現在の出資額合計 60億円 から 将来150億円を予定)
事 業:高性能リチウムイオン電池の製造販売
および研究開発

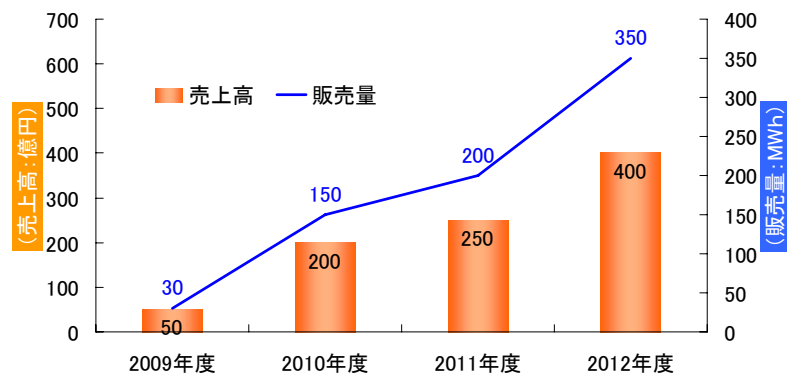
長田野工場 概要

所在地:京都府福知山市
敷地面積:1.6万㎡
生産能力:200MWh程度(HEV20~30万台分)
投資額:約250億円



44

Ⅱ 2. 中期経営計画 リチウムイオン電池事業 大型リチウムイオン電池事業の拡大



GSユアサ コーポレートスローガン

Next to you

エネルギー、環境社会での技術革新が進むなか、
電池技術を通じて社会のニーズに応え、企業価値
の最大化を追求します。

この資料には、当社の現在の計画や業績見通しなどが含まれております。
それら将来の計画や予想数値などは、現在入手可能な情報をもとに、当社が計画・予測したものであります。実際の業績などは、今後の様々な条件・要素によりこの計画などとは異なる場合があります、この資料はその実現を確約したり、保証するものではありません。



連絡先

株式会社 ジーエス・ユアサ コーポレーション
広報室 山本 靖志 ・ 谷川 浩一
Tel: 075-312-1214
<http://www.gs-yuasa.com/jp>